



いいかも

サンタさんは、頑張ったお父さん・お母さんに
どんなプレゼントを届けてくれるでしょう…。

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和6年度 12月号 No.9

可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ~泣いて、笑って、ともに歩もう~

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



「いいかも」
こちらから

~年末年始は、ふれあいがいっぱい~

忙しい毎日をお過ごしていると、あっという間に月日が通り過ぎてゆきます。やっと活動しやすくなったと思っていたら、今年も残すところあと3週間となりました。この9ヶ月間で、皆さんは多くを学び、仲間とのネットワークも広がってきたことと思います。役員さんには、計画した講座が終わるごとにほっとされ、充実感も味わっていただいていることでしょう。

さて、これから向かっていく年末や年始は、衣・食・住全てにおいて日本の文化やその土地ならではの過ごし方が体験できる絶好の機会です。「今年のことは、今年のうちに。」、様々なことに区切りをつけて新しい年を迎えようとお父さん・お母さんは、日々、慌ただしく過ごしておられることでしょう。「今、忙しいから・・・。」と、つい口をついて出てしまいそうになりますが、家庭の中で子ども達を仕事に巻き込めば、家族で同じ時間を共有する、ふれあいになります。子どもを褒めてあげることできます。遊んでいる時には見せない、成長を感じる表情や言動が目にとまるかもしれません。「お父さんやお母さんが喜んでくれる。」「ぼく、私も家族の一員として役に立っている。」それは子どもにとって心が穏やかになる(安定する)瞬間です。家族で過ごす時間がたくさんもてる年末年始になることを願っています。

ぺったんこ～、ミナモも大活躍！

助かったよ、ありがとう！

餅つき



大掃除



新年の抱負



僕は、本を〇〇冊読むよ。私は、漢字・計算ドリルに2回挑戦するよ。毎日家の周りを走るよ！

伝統文化



寒さに負けない！



～12月号では、5つの実践例を掲載します。～ 次頁より (P2～6)

12月は、保育園の実践例(在宅取組)を2つ、小学校を2つ、中学校を1つ紹介します。実りの秋、充実の秋。各地で活発に学級が運営されました。





講演会型 + 子育てサロン型

No.20

七宗町立上麻生小・神淵小 合同家庭教育学級

「統合への思い」

学級のねらい

神淵小と上麻生小は、令和8年度に統合し、七宗小学校となります。今回、初めての試みとして、神淵小・上麻生小合同の家庭教育学級を開催します。保護者の皆さんが楽しみに思っておられること、不安に思っておられること等、自由に話していただき、まずは親同士がつながる準備を始めたいと思います。



実施日時：R6.9.26 (10:00～11:40)
 場所：神淵中学校 会議室 (現神淵中が、統合後、七宗小学校の校舎となります。)
 参加者：両校の保護者：24名 教頭 町教育委員会職員

たぐち ひろし
講話：田口 広志先生 (現神淵中校長)



校長先生自ら作詞作曲をされたギターの弾き語りで講話が始まりました。そして統合への思いを熱く語られました。



教育委員会職員の案内で七宗小学校(現神淵中)の校舎内を見学しました。

神淵小 PTA 子育て担当より
 お忙しい中、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。
 神淵・上麻生の初めての合同家庭教育学級でしたが、神淵中学校の校長先生の素敵な歌から始まり、緊張もほぐれ、笑い声も聞こえる、とても良い会になったかと思えます。
 「統合」という同じ不安を抱き、サロンで交流し、情報交換ができたのは、すごく良かった。

学校の統合は多くの人に複雑な思いを抱かせる…
 ↓
 学校を一つ失う地域の不安
 学習環境の変化に伴う児童生徒の不安
 ↓
 閉かれた学校であるべき
 地域の連携が成されるべき

七宗町が好きだからこそ夢のある統合であってほしい
 ↓
 不安感の払拭のためには、生徒・保護者・地域民・教職員・町職員…みんなで新しい学校環境を支えていく気持ちが必要
 ↓
 統合までの長い道のりが無駄ではなかったという前向きな気持ち

「統合」はすでに事実！
 「学校統合が良いか 悪い」ではなく
 統合によって 何が成されるか
 どのように良い学校にしていけるか
 多様性を認め合っていけるか

- ・子どもには、新しい出会いや新しい集団生活、いろいろな人との競争などを経験してほしい。
- ・大人へのステップとして、生活環境が変わるという中で何とも自分を保って生きていくという経験はとても有意義だと思う。
- ・今まで幼少時からの人間関係のため、適応していたことや力を発揮できなかったことを克服するチャンスだととらえさせたい。
- ・多様な考え方に触れたり、異なる人とは違うタイプの人に出会ったりして対応を考えていくことで、社会性を身に付けてほしい。

- プログラム
- 1 開会のことば日程説明
 - 2 講話「統合への思い」
 - 3 七宗小学校校舎見学
 - 4 サロン (座談会)
 - 5 感想交流
 - 6 閉会のことば

初めて実施した2校合同の家庭教育学級でした。講話、校舎見学の後、4、5名からなる5つのグループに分かれ、サロン(座談会)を行いました。統合に関わって保護者や子ども達が楽しみに思っていること、不安に思っていることなどを自由に話していただきました。これからも保護者同士の関わりを深めながら、子ども達のために家庭の教育力をますます高めていけたらと思います。

上麻生小 PTA 子育て担当より
 たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。
 同じ年代の子どもがいる親同士で交流することができ、子育てをしていく上で、自分の家庭以外からの情報や刺激はとても参考になりました。親も子どもも大きな学びになったと思います。
 これからもこういう交流ができるとよいと思いました。



講演会型 + 体験活動参加型 + 子育てサロン型

No.21

八百津町立久田見小学校家庭教育学級

学級テーマ

「親子のふれあい、学級生同士のふれあいを深め、心豊かな子どもの育成に努める」

実施日時：R6.10.31(木) 10:30~13:50

場所：久田見小5・6年教室・図工室 参加者：保護者(のべ15名)



①「スマホ・ネット安全教室 for family」

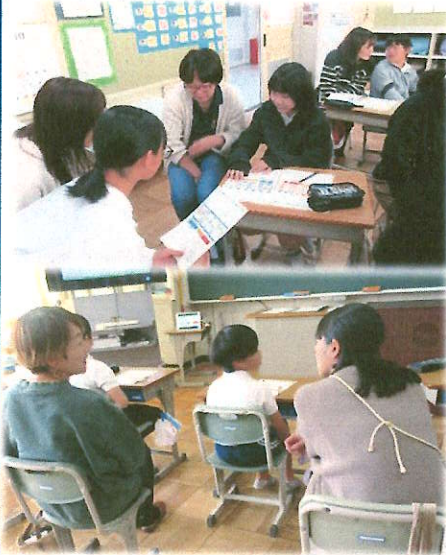
講師：NTT ドコモより (オンライン開催)
対象：5・6年生とその保護者

今日は、OSNSの発信性
Oどれくらい
リスクがあるか
について考えま
す。



インターネットを上手に活用するためのスキルアップ!

- ①情報技術の上手な活用とリスクを考える。
- ②どのくらいのリスクがあるかを考え、工夫やスキル(方法)を身に付ける。



↓
親同士で、親と子で、話し合いの時間をもちながら講座を受けます。最後は、今後、気を付けること(約束)を2つ決めました。

画面の向こうからの呼びかけを聴き、やりとりをしながら講座が進みました。担任の先生による働きかけもあり、学びがぐっと深まりました。

②栄養講話・給食試食会・給食参観

講師：八百津町 学校栄養教諭
対象：全保護者



食は、「知育・徳育・体育」全ての基本です。

- ・「食」は、とても大切なもの。毎日の積み重ねです。「食」は漢字で人を良くすると書きますが、食べ方によっては身体にも心にも悪い影響を及ぼすことがあります。
- ・食卓は、コミュニケーションをとるよい場です。会話(心の交流) + はしの持ち方(礼儀・マナー)等、子ども達に伝えていくことが大事です。
- ・朝食は、子ども達の様子をキャッチする場になります。一緒に食べる時間を作るようにしたいものです。
- ・小学生の時期は、体がぐっと育つとき。しっかり骨を作るため栄養のバランスを考えたい。カルシウムや野菜は大切。お互いに作用しながら体に働きます。(講話より抜粋)

アンケート結果をもとに、久田見小学校の「朝食のとり方」の特長を話されました。

岐阜県民の7割が野菜不足ということから「朝食に一皿野菜を加えましょう」というアドバイスがありました。

③子育てサロン会

13:15~13:50
対象：全保護者

講座のまとめは「サロン会」です。5~6名のグループに分かれ、「我が子の自慢」で盛り上がりました。子育てで困っていることも気軽に話し、皆でつながることができました。

お疲れ様でした!

<給食試食会>より

本日の給食について?

- ・お腹いっぱいになりました。味付けもちょうどよかった。
- ・季節のイベントに合わせた献立になっていて楽しく食べることができました。
- ・毎日、家庭でお昼ご飯をこんなにバランスがとれるようにできないので、給食はありがたい。

<給食・食育の講話>より

- ・「生きることは食べること」を我が家では大切にしています。
- ・給食で体によい食材を選んで下さっていてありがたい。
- ・学校で栄養が摂れているので安心しました。
- ・授業で食育の勉強をしたそうで、家でも野菜が足りない、赤色が足りないなど、よく分かっているなあと思いました。家でも伝えていますが、学校ほど耳に入っていないようなのでごくありがたい。
- ・食事のバランスやマナー等家でも話してみようと思えます。

この日は、一日に3講座実施されました。一つ一つがとても充実した学級になったようです。



講演会型+子育てサロン型

No.22

富加町 大きいひよこ教室 (乳幼児学級)

「こども園見学」

学級のねらい

大きいひよこ教室の子ども達は、あと五ヶ月するとそのほとんどがとみかこども園に入園します。わが子が自分の手元から離れ、新たな集団に入ることによって不安を感じておられる方も少なくないでしょう。園の見学やお話を聴き、少しずつ入園に向けての準備をはじめましょう。



実施日時：R6.11.6 (水) 10:00~11:30

場所：とみかこども園 遊戯室 参加者：親子(22組) 町担当者2名
子育て支援センター職員3名

講師：講話 とみかこども園 副園長さん
提言 富加町教育管理監

プログラム

- 1 はじまりのあいさつ
- 2 おはよう之歌 3 お返事はーい
- 4 お誕生日おめでとう!
- 5 読み聞かせ「へんしんトンネル」
- 6 園より 見学&講話
- 7 教育管理監より
- 8 フリートーク(サロン)
- 9 アンケート記入
- 10 連絡事項 終わりの挨拶

富加町乳幼児学級

さくらんぼ(胎児期)→たまご(0歳児)→小さいひよこ(1歳児)→大きいひよこ(2歳児)



担当班による読み聞かせ

園内見学
未満児クラス
で読み聞かせに
参加させてもら
いました。園児
と一緒に、親子
でお話に耳を傾
けました。



登園をしづつたら

↓
「心配せず、送り出してください。その子その子のペースがあります。促してはやりたいが、泣いてまで無理強いしなくてもいいですよ。それ心があせてイライラしては本末転倒です…。」

後半：フリートーク

- ・野菜を食べないけれど、給食が不安です。
- ・お箸がまだ持てません。スプーンとフォークのままでいいのかしら？
- ・兄弟でおもちゃの取り合いをします。など、子育ての悩みをたくさん交流しました。経験のあるお母さんから、「今の世の中は、情報が多いから。みなさん気にしすぎ。気にするからイライラしてしまう。それはかえって子どものためによくない。」「心配はあるけど、いつかは解決するから。適度に母さんをやっています。」等、気持ちが楽になるようなアドバイスがありました。

「～べき、しなければだめ。」と思いつき過ぎないように。いっぱい愛情を受けて育った子は、生きていきます。いつかは終わりが来る子育ての時間を大切に。目いっぱい楽しんで！
(町家庭教育学級担当より)

副園長先生より <生活習慣の自立のポイント>

- ◎お家の方が良い手本になって。お子さんが真似をすることが、まず第一歩!
- ◎無理強いせず、励まして見守ることを大切に!
- ◎できた時は褒め、次もやってみようという意欲に!
- ◎お子さん同士(友達)の中で、遊ぶ経験を大切に!





講演会型

No.23

美濃加茂市立西中学校 家庭教育学級

学級テーマ
「思いやりの心もち、仲間との絆と自分自身を大切にできる子どもの育成」
 実施日時：R6.11.13（水） 14時00分～15時30分
 場所：西中学校図書室（北舎2階） 参加者：保護者（のべ8名） 学校職員2名

講師：^{さ さ き}佐々木 ^{ち え}知絵 氏（西中学校スクールカウンセラー）

内容：令和時代の子育ての在り方
 ～ほっとできる居場所を作るために～

1 近年の子ども達の状況
 令和5年度 不登校児童生徒について把握した事実
 学校生活のやる気が出ない 32.2%
 不安・抑うつ 23.1%
 生活リズムの不調 23.0%
 *不登校は、理由が一つではない。複合的なもの。「皆が勉強している時に、遊んでいるのがつらい。」と回答した子
 …… 493,442人



2 ほっとできる居場所とは
 ・家、学校、習い事、友人関係など、「自分が所属する集団内で大切な存在として尊重されていると感じることができて、リラックスして過ごせる場所。」
 ・今、流行りのキーワード「心理的安全性」。
 チーム内の誰に対しても自分の意見や気持ちを安心して伝えられる状態。「話しやすさ・助け合い・挑戦・新奇歓迎（新しい価値観や今までと違う状態を受け入れること）」



3 雰囲気づくりのテクニック～傾聴～
 「傾聴」とは？ 相手に関心をもって、共感しながら受け止める「聴き方」。
 ①「傾聴」の三原則
 共感的理解・・・相手の立場になって聴く。
 ②無条件の肯定的関心
 善悪や好みの評価を入れずに聴く。
 →否定や安易なアドバイスをしない。
 ③自己一致
 相手にも自分にも真摯に聴く。
 →分からない時は、質問する。

子どもが真剣な話をしたときは、傾聴のスイッチを入れる。「聴く」態勢を作る。「共有するが絶対に話さないこと」を家族間で確認すること！

- 「傾聴のポイント」
- ・○ うなずき・あいづち・オウム返し・要約
 - ・× 否定・評価・意見の押し付け・不遜な態度
 - ・助言は慎重に、リアクションは、程ほどに。
 - ・分からないことやもっと詳しく話してほしい時は、オーバーリアクション
 - ・沈黙を共に味わう → 上級
 そんな時は、「何か話づらい？」という一言。



講座の最後に三人一組で「傾聴」のワークショップを行いました。参加者の中に外国人のお母さんもおられ、通訳さんが同時通訳で学びを支えてくださいました。